

答え合わせ・解説

問1	答え 2 君死にたまふことなかれ	晶子は、弟の身を案じ、戦場の凄惨な光景を想像しながら「君（弟）よ、死ぬことなかれ」と情熱的に訴える詩を書き上げました。この詩は雑誌『明星』に発表され、当時の社会に大きな反響を呼びました。
問2	答え 1 植民地	列強は、武力や経済的な影響力を用いてアジアやアフリカなどの地域を支配下に置きました。これが植民地です。支配を受けた国々は原料を奪われ、列強から工業製品を買わされるという不平等な関係を強いられました。
問3	答え 1 陸奥宗光	陸奥宗光は外務大臣として、日英通商航海条約を調印し、日本を苦しめていた不平等条約の一つである領事裁判権の撤廃を実現しました。
問4	答え 4 遼東半島	しかし、この地の支配を警戒したロシアは、ドイツ・フランスを誘って日本に清への返還を要求しました。これが三国干渉です。軍事的に不利な状況にあった日本は、この要求を受け入れて返還しました。
問5	答え 4 ロシア・ドイツ・フランス	特にロシアは南下政策を進めており、日本がこの地を支配することを最も恐れていました。フランスはロシアとの同盟関係から、ドイツは東アジアへの権益拡大の機会を狙って、ロシアと協力して日本に圧力をかけました。
問6	答え 2 改正	明治政府は国力を高めるため、欧米諸国と粘り強い交渉を続けました。井上馨らによる欧化政策や、後の陸奥宗光、小村寿太郎らの外交努力によって、一つずつ権利を回復させていく過程が改正交渉です。
問7	答え 3 義和団	1900年、武術を学んだ農民を中心とする宗教的な組織「義和団」が、「扶清滅洋（清を助け、外国を滅ぼす）」を掲げて立ち上がりました。彼らは北京の公使館区域を包囲するなどの事件を起こしました。
問8	答え 1 渡良瀬川	鉱毒は渡良瀬川を通して下流の農地へ広がり、稲などの農作物や住民の健康に深刻な被害を及ぼしました。これは日本における初期の公害問題として知られています。
問9	答え 1 井上馨	井上馨は、外務卿として条約改正交渉を主導しました。鹿鳴館に外交官らを招いてパーティーを開き、日本の文化が西洋と対等であることを示そうとしました。
問10	答え 4 田中正造	田中正造は衆議院議員として、この問題がいかに深刻かを政府や議会で繰り返し訴えました。議員を辞職してまで天皇に直訴しようとするなど、その活動は非常に情熱的でした。
問11	答え 4 津田塾大学	津田梅子は、女性の経済的自立と社会での活躍を目指し、1900年に「女子英学塾」を設立しました。高い英語力と教養を身につけることを目指したこの塾は、のちに専門学校を経て大学へと発展し、現在の津田塾大学に至ります。
問12	答え 1 小村寿太郎	外務大臣であった小村寿太郎は、諸外国と粘り強く交渉を重ねました。1911年にアメリカなどの各国と新たな通商航海条約を結ぶことで、ついに日本は関税自主権の完全回復を達成しました。
問13	答え 3 天賦人權論	人間は天から平等に権利を与えられて生まれたという思想です。身分制度が残っていた日本社会において、この教えは人々に大きな衝撃を与え、個人の権利を主張する論理的根拠となりました。
問14	答え 2 三国協商	三国協商は、これらの国々が結んだ外交的・軍事的な協力関係です。この枠組みにより、世界は二つの陣営に分かれることとなりました。
問15	答え 3 日清戦争	政府は、この日清戦争の賠償金を、近代的な工業化を推進するための軍備増強や製鉄所の建設といった国家プロジェクトに集中的に投資しました。これにより、1901年に八幡製鉄所が建設され、本格的な製鉄生産が始まりました。
問16	答え 4 足尾銅山鉱毒事件	栃木県の足尾銅山で、精錬過程で生じる煙や廃水が原因で周囲の農地や川が汚染されました。特に渡良瀬川流域では農作物が枯れ、住民に健康被害も発生する深刻な状況となりました。政治家の田中正造が国会でこの問題を追及し、政府に強く訴えたことでも有名です。